

# 石と町とアタシと

～あきねえ便り～ 7月号

7月、関東ではお盆ですね。お天気が回復すると、お墓参りのお客も徐々に増えて、霊園もにぎやかになってきます。ご家族でお墓に手を合わせている様子を見かけると、心温まる気がします。今月もバリバリ元気出して、暑さを吹っ飛ばしちゃいますよ～！

こんにちは！アタシあきねえです♪

父を亡くした時、お寺のご住職に言われた言葉がきっかけになり、銀行員を辞めて「石材ケア」の道に。太い腕と、頑丈な体を武器に(!?)お墓の汚れと向き合う毎日過ごしている。食べている時が一番幸せ。3人のやんちゃな男の子の子育てに奮闘中！

TakeShoコミュニケーションズ(株)

〒338-0824

埼玉県さいたま市桜区上大久保 9-16

TEL 048-699-9731 FAX 048-699-9730

HP <http://www.takesho-com.jp/>

たけしょうで検索してください！

100年の汚れを落とし、とっても喜んでいただきました！(\*^^)v



さすがのアタシも、「うげ！」って感じで…(°o°)

**7月、6月の案件です。**  
6月はめっちゃくっちゃ忙しい月となりました。しかも、困難案件の嵐：法事などの都合で、急ぎばかりです…。しかし！できないなんて言いません！  
そこに、キレイにして欲しいお墓があるなら、たけしょうはすっ飛んでいって全力を尽くします！  
**その声**  
まずはこれ！  
大正十四年建立のこのお墓は、はるばる九州から運んできたものです。ですから、石屋さんも簡単に建て替えるは勧められず、固いゼンゴケに覆われたこのお墓が、どこまでキレイになるか半信半疑のまま、たけしょうへご相談いただきました。



このお墓は、有名な画家さんの子息のお墓で、若くして亡くなっているのです。お墓に刻まれた文字も、下部に書かれた文章も、どうやらそのお父上の直筆。その内容は、「子息がこの世に生きた証ともなるような記録で、想いのこもったものでした。またしても、ホロツとしてしまっただあきねえです…」

右が施工前、左が施工後。まるで、黒いお墓と白いお墓ですよ。

実はこの石は大理石で、外人墓地ではよく見かけますが、日本のお墓では珍しいのです。大理石は、サンドペーパーなどで磨きをかけてキレイにすることが多いのですが、横や後ろの加工がデコボコなため、たけしょうへ依頼が！  
デリケートな大理石も、見事、本来の色を取り戻したのでした。こうして、汚れを取ってみると、見えなかったものが見えてきました。

最後に、リフォーム案件。植木屋さんが木の伐採、石屋さん階段などの取り替え、たけしょうが洗いという組み合わせです。



**その四**  
最後に、リフォーム案件。植木屋さんが木の伐採、石屋さん階段などの取り替え、たけしょうが洗いという組み合わせです。



**その参**  
青山霊園の八〇年物の案件です。青山の黒ずみは、半端じゃありません！あきねえ泣かせで、厚く粘っこく、しつこーい！でも、たけしょうに不可能は無いのだ！(と、自分に言ってます…)

コケカビを取り除くと、その石本来の『味』が蘇ってきます。この石肌を見たとき、なんともいえなく感動し、この仕事をしたい良かったと思うのです。



世間で言う3Kって、仕事「きつい」「汚い」「危険」の意。でも、墓石洗に関しては、「きつい」「汚い」「蚊が来る！！」だと思ふあきねえです…(>\_<)

◆次回は、ホテルのエントランスの石壁！◆



全面にシミが！  
たけしょう  
ピーンチッ！？  
＼(〇o〇)／！

石材ケア  
**たけしょう**